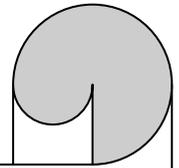


経済学入門Ⅰ・Ⅱ

生活を豊かにするために、各経済主体のインセンティブを見据えつつ、
経済全体の諸問題を読み解こう！

複雑な経済現象を理解するには理論を学習することが必要です。経済学入門Ⅰでは、ミクロ経済学、経済学入門Ⅱでは、マクロ経済学を主に学んでいきます。どちらにおいても、経済学の基本的な考え方を把握し、経済学の発想を身につけることによって、さまざまな経済問題を読み解くことができるようになります。



経済学入門Ⅰは、消費者・生産者・政府といった個別の経済主体がどのように行動するかについて分析します。そこでは、需要と供給が調整される市場という場所で何が起こるのか、そのバランスが崩れる場合、政府がどのように介入するのかといったことに注目します。とくに、消費者、生産者、政府のインセンティブに着目し、その行動について学びます。さらに、規範的な枠組みの中で効率性や公平性といった概念も見ていきます。

経済学入門Ⅱは、一国全体、あるいは一地域全体の経済の動きに着目し、その動きの要因を見ていくことにその特徴があります。そのような全体的な視点で経済をとらえ、経済成長、失業率、グローバル経済などの経済のパフォーマンスなどについて学びます。

本科目と同様に経済学を学ぶ科目として、経済政策、国際経済などがあります。